



生物多様性 保全分野

生態、進化研究から、
保全を目指す

生物には遺伝子から生態系に至るさまざまなレベルで多様性があります。私たちは、こうした多様性はなぜ重要なのか、またどうすればそれを守ることができるのか、多彩な動物種と生態系を対象に研究を進めています。またこのような保全の研究には、進化や生態系の仕組みについての基礎的な理解も必要です。私たちは、島嶼などのユニークな”自然の実験室”を用いて、こうした基礎研究にも取り組んでいます。

Lab. DATA

生物多様性保全、生物間相互作用、進化
千葉聡 教授
鹿野秀一 准教授
<https://www.evlcos.com/>



在学生

Interview



博士2年
内田 翔太

世界遺産でもある小笠原諸島の生態系を、保全するための研究に取り組んでいます。特に外来アリや外来ウズムシが在来生態系に与える影響を予測し、その影響を緩和するための手法の開発に取り組んでいます。小笠原に長期滞在し、行政や住民と協力して調査、研究を進めています。

topics



小笠原諸島で独自の進化を遂げた固有の生物の代表格・カタマイマイ。その多様化の仕組みと保全の研究を進めています。